

提出 順番	No. 12	平成26年 2 月 28 日 午前・午後 2 時 15 分
----------	-----------	----------------------------------

平成 26 年 2 月 2 8 日

幕別町議会議長 古 川 稔 様

幕別町議会議員

野原恵子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 子どもの医療費を 中学校卒業まで無料に	幕別では、子育て支援として 2011 年 10 月から子どもの医療費を、小学校卒業まで無料とし実施しています。子育て世代から「給料前でも安心して病院に行くことができる」「幕別に転居してきた」など大変喜ばれ、定住効果にもなっています。また祖父母世代からも子育て応援の施策として評価されています。 十勝では大樹・上士幌・新得などが、中学校卒業まで所得制限なしで、医療費無料を実施しています。保護者から幕別でも拡大して欲しいと要望が出されています。 いま、働く世代の労働環境は、総務省が 2 月 18 日に発表した 2013 年の労働力調査によると、正規労働者が前年に比べ 46 万人減少し、非正規労働者が前年比 93 万人増加していると発表しています。不安定な雇用、あいつぐ増税、社会保障の負担増などで生活を圧迫しています。特に子育て中の若い世代の経済状況は厳しさを増し少子化の要因にもなっています。 従いまして次の点について伺います。 ① 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること ② 所得制限を設けないこと ③ 子どもの医療費無料を中学校卒業まで、国の制度として確立することを求めていくこと

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 発達支援センターの 拡充を	これまで発達に問題がないと思われていた子どもたちの中に、発達上のつまずきのある子どもたちがいることが知られるようになってきました。これまでほとんどが家庭でのしつけの問題や親子関係の問題とされることが多かったのですが、今日では発達障がいとは中枢神経系の何らかの機能不全で起こると推定されており、育て方や家庭環境が原因で起こるものではないことが明らかとなっています。そのため、発達障がいの子どもの正しい理解がなされ、適切な支援が大切です。 幕別町発達支援センターは、障がい児及び発達に支援の必要な児童に対し、その心身の発達を総合的に支援するとして、2012年4月からことばの教室の事業内容を拡大しスタートしています。 その内容は、発達相談は0歳～18歳、発達支援は0歳～6歳となっています。18歳まで発達支援を行っていくには、施設の整備・専門職の配置・他の専門機関との連携など課題があります。 以下、次の点について伺います。 ① 臨床心理士・言語聴覚士など専門職の配置を ② 専門機関との連携の現状と今後の方向性は ③ 発達支援センターを計画的に拡充させていくこと 以上